

世界のソーシャル・ビジネス

北米編
米国

持続可能な買い物 社会変革を促す

オンラインショップを展開するダングッド(本社・米マサチューセッツ州)は、200以上のサステナブルなブランドによる衣食住商品をそろえ、社会を良くするための買い物を提案。同社をはじめ取り扱いブランドの多くが、売上げの一部を環境保護団体に寄付し、買い物を通じた社会変革に挑戦する。

(クローディア・真理)



創始者のシュウオーツさん

創立者のカラン・シュウオーツさんは、米農務省の上級報道官だった。仕事をすることで、投票や嘆願書などよりも、お金が社会に与える影響力の大きさに気付く。

衣食住商品に年間130兆米ドル(約1京4500兆円)を費やし、慈善団体に4千億米ドル(約44兆6千億円)を寄付する米国民の購買力に着目。その購買力を環境・倫理面に配慮した商品の購入に導き、社会をより良くしたいと2015年に辞職。ダングッドを創設した。公益性の高い会社の認証制度「Bコープ」の認定を受けている。

同社の掲載ブランドの選定は厳しい。独自に設けた、生活賃金を保証するなど倫理における再生可能エネルギー使用など環境における条件を満たす必要がある。インタビュー調査を行ったり、Bコープやフェアトレードといった独立認定機関の認証を得ているか

も確認したりする。

ダングッドがネットとアプリ上で展開するブランドは200以上。衣食住さまざまな商品をそろえる。「グリーンウォッシュ(環境に配慮したふりをする)企業」が存在するなかで、消費者はダングッドを通じて環境負荷が低く、倫理にかなったアイテムに確実にたどり着くことができる。

顧客もブランド選びに手を貸す。掲載にふさわしいブランドを推薦したり、現在掲載のブランド中で不適格なところ

を指摘したりする。ダングッドは、エココンシャスな人々にとつてのコミュニティにもなっている。

二重に環境保護に貢献

ダングッドは売り上げに応じて該当ブランドから少額のコミッションを得ているが、その収入の一部を環境保護NPO「1%フォー・ザ・プラネット」に寄付している。ダングッドで取り上げるブランドの中には、1%フォー・ザ・プラネットの会員も少なくなく、二重に環境保護に貢献することも可能だ。

今までに、ダングッドを通して顧客が買い物をした総額は92万米ドル(約1億円)を超えている。

米「フォーブス」誌は「ソーシャルグッド版アマゾン」と評する。ダングッドは人々に各々が持つ購買力に気づいてもらい、最大限に環境と社会貢献に生かすための手助けに今後も努めていく。



ダングッドのトップページ。同社は世界を環境・倫理面の双方でより良い方向に導くことが認められた企業に贈られる、Bコープの「ベスト・フォー・ザ・ワールド」賞を受賞している